

農業法人に就業して



農業法人就業セミナー

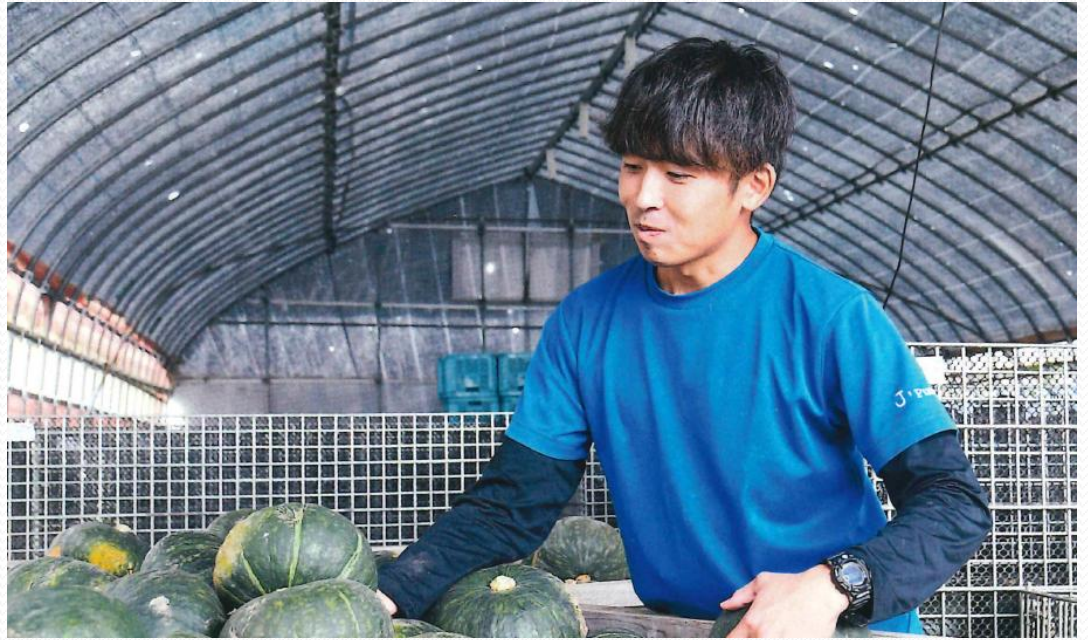
平成7年1月11日

株式会社J'Pumpkin

平塚章充

自己紹介

- 29歳
- 出身 埼玉県
- (株)J'Pumpkin就業 6年目



会社の紹介

- (株)J'Pumpkin

代表取締役 大塚 悠

平成30年設立

- 理念 「革新を持って農業を未来へつなぐ」
- 経営面積・栽培作物

かぼちゃ 22ha、 玉ねぎ 3ha、 水稲 2.5ha



**【特徴】 社長・従業員が20～30代の若い会社！
有機栽培の取り組み！
新技術に常にチャレンジ！**

J'Pumpkinに就業するまでの経緯①

- 農業高校卒業
 - 大学の農学科へ進学・卒業
- ↓
- 農業法人に就職
- 農業への興味が増す！

なぜ農業法人か

- 農業は天候に左右され、収入は不安定だが・・・
- 給与を得ながら、安定的に農業に従事できる！

J'Pumpkinに就業するまでの経緯②

【 1回目の就職 】

- 農業専門の求人サイトで探す。
- 地元、埼玉県の農業法人に就職。

しかし・・・

- 体験もせず、入ってから会社の実態を知る。
- ただの労働力、分からないまま言われた作業をやるだけ、上司のお説教タイム、体力的にも精神的にも追い込まれ
→ 4か月で退社を決意。

【 2回目の就職 】

- J'Pumpkinでは、まず体験を勧められる。それも別会社も含めて。
大塚氏「ほかの会社も見てみたら」（その上で選んでね）
- 結果的に(株)J'Pumpkinに就職
- まずはバイトからスタート → 1年後、正社員に

会社の中での役割①

- 玉ねぎ・稲WCS(稲発酵粗飼料)・草刈りの責任者

※責任者とは・・・段取り、スケジュール管理など

- トラクタ、フォークリフトなどの機械作業、かぼちゃ作業のフォロー



会社の中での役割②

- 特に**玉ねぎ**は栽培体系の構築を担当
＜新しい品目の導入を任される！＞

ゼロから調べる、少しずつ機械化も実現 → 収量の増加に！



目的が示される。任される。工夫する。成果がわかる。
→ やりがい！

会社の中での役割③

- 稲WCSでは … 新技術の導入試験に取り組む

水稲の直播栽培 及び ドローンによる播種作業など



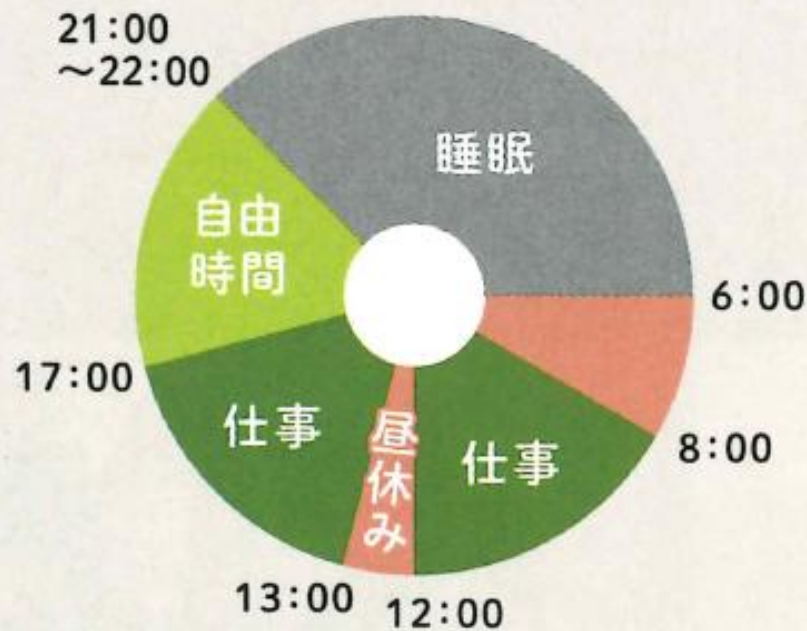
ドローンの資格取得を会社が支援

1日のスケジュール

point
♪

平塚さんの
1日のスケジュール

忙しい時期は、早朝から仕事をする日もありますがその分早く終わり、週1回以上は休みです。1、2月は週3回の出勤です。



冊子「農業で、未来を支え人になる！」(長野県農政部発行)より

1年間の主な作業

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
玉ねぎ			← 除草 →						← 耕運 →			
	 				← 収穫 →				← 播種 →			
					← 圃場片付け →					← 育苗 →		
						← 調整・出荷 →				← 基肥・マルチ張り →		
										← 定植・捕植 →		
その他			← かぼちゃ作業 →									
					← 稲WCS作業 →							



農業法人で働いてみて

【 大変だと思ったこと 】

- 人間関係・・・コミュニケーション大事
- 体力面・・・季節により作業が異なる → 慣れるまで1年
- 農作業は個人差が出る・・・作業により向き不向きある

【 魅力・やりがい 】

- 自分は農作業が好き！楽しい！
- 自分が管理したものが収穫・出荷 → 喜び、成果を実感
- 【従業員として】 給与、休日など労働環境の保障
個人では難しいことが会社ならできる

【 今後について 】

- より責任を果たせる人材になる → 頭を使う！会社になんて提案！
- ずっと働きたい → 体力が無くなっても、できる仕事を作っていく！

初めて農業で働く皆さんへ

- 入社前に、まずは体験、やってみる。
日数重ねる。自分のやる気を確認。
- 入社後、最初は大変でも慣れてくる。
- でも、ムリしない、体を壊さないように続ける。
- 目的を持ってやる。
- 失敗は付きもの。
→ そこから改善、諦めずに続ける！

ご清聴ありがとうございました。